

各位

平成21年7月3日
近畿日本ツーリスト株式会社
ブランド戦略室広報 担当：立花
(TEL：03-3257-1661)

旅行取扱状況の概観（平成21年 5月分）

海外旅行の取り扱いは、新型インフルエンザの影響が甚大で、大幅な前年実績割れとなった。

団体旅行では、一般団体が企業の海外渡航自粛等の影響で前年比51.2%と極めて大きく前年実績を下回り、学生団体は旅行の中止・延期が相次ぎ前年比8.6%と壊滅的な状況となった。海外企画旅行では、ホリデイが取扱人員で前年比105.6%、取扱額は前年比85.4%となり新型インフルエンザによる取消しの影響が大きく、ゴールデンウィークの効果を生かすことが出来なかった。個人合計としては、国際航空券が企業の海外出張自粛の影響で、前年比29.2%と大きく前年を下回り、全体として87.6%となった。その結果、海外旅行合計としては前年比76.6%となり前年実績を大幅に下回った。

国内旅行の取り扱いも新型インフルエンザ国内感染の影響を受け、団体旅行では、一般団体、学生団体ともに中止・延期が相次ぎ、一般団体が前年比72.8%、学生団体が前年比76.8%とそれぞれ前年を下回った。国内企画旅行は、メイトの取り扱いが、前年比84.7%であった。国内個人旅行は、JR券・航空券・宿泊券・観光券ともに低調で前年実績を下回った。GWの日並びの良さやETC割引、定額給付金等の外的要因による期待に対して、十分な取り込みが出来なかったことと、後半は新型インフルエンザの影響による旅行自粛傾向が重なり、その結果国内個人旅行は前年比71.1%の結果であった。国内旅行合計も、前年比77.8%となり前年実績を大幅に下回った。

外国人旅行は、前年比115.6%の結果であり好調に推移した。

5月の総取扱額は、前年比78.1%と低調であった。

(以上)